

こんにちは、小川あきらです。

きらきら通信

春号
2012.4月



【当選から 1 年が経ちました！】

早いもので、昨年4月10日の群馬県議会議員選挙から1年が経過しました。この一年間は、無我夢中で、毎日走りまわって皆様のご意見・ご要望をお伺いし、県政へ届けさせていただきました。少しずつではありますが、要望が実現した部分もあり、提案したことが県の施策に反映されていく事に達成感を感じています。2年目は、さらに充実した議会活動・地域活動を行っていきたいと思います！

群馬県議会議員 **リベラル群馬**



H24年度・当初予算 6653億8800万円

平成24年度 予算が決まりました ぐんまの家計簿

主要事業

1 地域を支え、経済・社会活動を 支える人づくり

- 1 次代を担う人材づくり
 - 「スクールカウンセラー」配置
 - 「さくらプラン」「わかばプラン」の継続
 - 特別支援学校新設等準備
- 2 高齢者が活躍できる社会づくり
 - 「ぐんまちよい得シニアパスポート(仮称)」の創設
- 3 群馬の飛躍を支える産業人材の育成
 - 「ぐんま農業フロントランナー養成塾」
- 4 地域の安心を支える医療・福祉人材の育成・確保
 - 「医師確保対策」、看護師等への修学資金貸与制度
 - MRI導入によるがん検査の技術向上対策

2 誰もが安全で安心できる 暮らしづくり

- 1 「医療先進県ぐんま」の推進
 - 「地域救命救急センター」運営補助
 - 救急搬送システムの高度化
 - 保健予防課に「がん対策推進室」を新設。がん検診受診率向上対策、緩和ケア病棟整備
- 2 誰もが安心して生活できる福祉の充実
 - 障害児(障害者)の歯科診療体制の拡充
 - 「特別養護老人ホーム」「障害者グループホーム」の整備
 - 若年性認知症患者のための就労型デイサービスの導入
- 3 安全な暮らしの実現
 - 「地震防災戦略」の策定
 - 環境保全課に「放射線対策係」を新設。放射線測定機器の増設、放射線検査体制の充実
- 4 災害に強い県土を築く
 - 県立学校の耐震補強工事。警察署・県立図書館の耐震化

5 誰もが安心して働ける労働・雇用環境づくり

- 「ジョブカフェぐんま」
- 「ぐんまのイクメン・イクボス養成塾」

6 優れた群馬の環境を守り、未来へ継承する

- 住宅用太陽光発電設備設置に対する補助
- 再生可能エネルギーの活用促進
- 「尾瀬学校」

7 地域住民の生活を支える「地域力」の強化

- 集会施設の新設、建て替えに対する補助制度の創設
- 商店街活性化支援

3 産業活力の向上・ 社会基盤づくり

1 はばたけ群馬の経済戦略

- 「野菜王国・ぐんま」総合対策
- 「ググっとぐんま観光キャンペーン」
- 「ぐんまの木で家づくり」

2 ぐんまのイメージアップ

- 東国文化・古墳群の調査・活用
- 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録推進

平成24年度の群馬県の当初予算の概略を「家計簿」に例えてみました！
(10億円=1万円)

収入		支出	
給料(県税)	196万円	生活費(人件費)	234万円
ボーナス2回	139万円	医療・介護・教育費(扶助費)	24万円
(地方交付税)	29万円	(補助費など)	165万円
(地方譲与税)		家の修復・防災対策など(投資的経費などの公共事業)	104万円
親からの仕送り(国庫支出金)	73万円	ローン返済(公債費)	95万円
貯金取崩し(繰入金)	30万円	その他(貸付金、貯金など)	43万円
銀行借り入れ(県債)	99万円		
その他	99万円	合計	665万円
合計	665万円	ローン残高(県債残高)	1130万円
貯金残高(基金残高)	0.3万円		

*県債残高1兆1300万円は、県民一人あたり約57万円の計算です。

議会基本条例が 制定されました。



議会基本条例とは地方議会の運営をどのように行うかを定める条例です。2月に制定され、本年4月1日より施行されます。全国的には既に16道府県で制定されていますが、その多くが理念中心の実効性に乏しい内容になっています。群馬県議会基本条例は、理念の実効性を担保する「仕組み」を備えた内容となっており、今後、さらなる議会活動の活性化及び県民に開かれた議会づくりを推進していきます。

議会報告

東日本大震災から1年が経ちました。被災地には今もがれきの山が…。その量は、岩手・宮城の両県で2000万トンを超すといわれています。岩手県では平年の11年分、宮城県では19年分に相当する膨大な震災廃棄物。1年間で処理されたがれきは全体のわずか5%。被災地のみでの処理には限界があります。しかしながら、2000万トンを超す災害廃棄物も47都道府県で負担すれば、1年分の量にすぎないとのこと。がれきの広域処理が大きな課題となっています。

今回のがれきの広域処理は、①岩手・宮城のがれきを対象に（福島県のがれきは除く）、②搬出前に被災地で放射能測定を行い、③さらに受入地でも放射能測定を行うことにより安全性を十分に確保する内容となっています。群馬県では、県有の処理場がないため、各市町村に受け入れの検討をお願いするしかありません。すでに中之条町などで住民説明会が開始されましたが、地元住民の皆さんの理解があって初めて実現できる助けあいです。



県議会の豆知識

海外調査について

平成17年を最後に行われていない県議会委員会の海外調査を再開することになりました。以前は、1期4年のうちに海外調査費100万円という予算が設けられており、議員特権の一つとみられていました。海外調査の再開については、必要性は認めるものの、議員それぞれが政務調査費や自費を使って行うことができるので、あえて公務として実施する必要はないと、会派では一貫して反対してきました。しかしながら、最後は多数決で、自民・公明の賛成により再開の決定がなされました。今後の実施については、①行き先を東南アジアなど近隣諸国に限定、②第三者委員会を設置し、調査の妥当性を判定する、③議会改革検討委員会でルールを詰め、早ければ平成24年度中にも再開する見通しです。

活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 1月 1日 前箱田町他 新年互礼会
- 1月 5日 県議会新春交流会 / 新年上毛新聞新年交流会
- 1月 7日 商工会議所新年互礼会
- 1月 8日 出初式
- 1月 9日 前橋初市
- 1月13日 群馬県歯科医師会新年祝賀会
- 1月14日 古市町 他どんと焼き
- 1月15日 前箱田町他どんと焼き
- 1月17日 部落解放同盟新年祝賀会
- 1月18日 前橋青年会議所通総会
- 1月25日 常任委員会
- 1月27日 ENEC 総会及び研修会 / 前橋地協旗開き
- 1月28日 桑原衆議院議員新年会 / 宮崎衆議院議員新年会
- 1月29日 国労旗開き
- 1月30日 市町村議長懇談会
- 2月 3日 前箱田町節分祭
- 2月 4日 日本青年会議所群馬ブロック総会及び拡大セミナー
- 2月 5日 社会民主党群馬県連合会新春の集い
- 2月 6日 認知症サポーター養成講座
- 2月 8日 大規模震災対策特別委員会 / 前橋市長選公開討論会
- 2月 9日 県予算勉強会
- 2月11日 中部局長会総会
- 2月13日 議員団会議
- 2月20日 2月議会開会 (3月19日まで) / 野菜グルメの会
- 2月21日 中部県民局との意見交換会
- 2月24日 本会議 (代表質問)
- 2月25日 シンポジウム「地域と未来と今なすべきこと」中谷蔵氏他
- 2月26日 東地区卓球大会
- 2月27日 本会議 (一般質問)
- 2月29日 本会議 (一般質問)
- 3月 1日 本会議 (一般質問)
- 3月 2日 大野もとひろと日本の未来を語る会
- 3月 4日 群馬弁護士会憲法集会「原発事故と官僚の責任 - 日本は再生できるのか」講師：古賀茂明
- 3月 5日 産経土木常任委員会 / 大規模震災対策特別委員会
- 3月 7日 本会議
- 3月 8日 産経土木常任委員会
- 3月 9日 産経土木常任委員会
- 3月10日 TPPと原発と消費税の問題を考える会 (講師：川内博史)
- 3月11日 ぐんまNPOフェスティバル
- 3月13日 大規模震災対策特別委員会
- 3月14日 大規模震災対策特別委員会
- 3月17日 前橋青年会議所「宇宙・夢・希望カレッジ」
- 3月18日 やまびこハイキング
- 3月19日 本会議 (閉会)
- 3月23日 東小卒業式
- 3月25日 群馬健康クラウドネットワーク協議会成果報告会
- 3月29日 都市計画審議会
- 3月30日 前橋工業団地造成組総会

BLOG

ブログ
やっています!
ぜひ一度覗いて
みてください



認知症サポーター 養成講座

投稿日: 2012年2月7日

昨日、県庁で行われた認知症サポーター養成講座に参加してきました。講師の群馬大学山口晴保教授のお話は、とてもわかりやすく、そして楽しい内容でした。認知症介護をしているご家族や地域の皆さんにも、ぜひ聞いてもらいたいです。認知症は、85歳以上では4人に1人が認知症といわれているありふれた病気。認知症の方は、ちょっとした手助けがあれば自宅で生活を続けることも可能だそうです。しかし、実際には、偏見により、本人やご家族が苦しんでいることも珍しくありません。「認知症の本人には、自覚がない」と思われがちですが、最初に症状に気が付くのは、本人だし、物忘れや失敗により、喪失感や不安感を一番感じているのも本人です。そういった不安感から、「ものを盗られた」という妄想が生じたり、自信を失ってうつ状態になってしまったりするそうです。あるがままを受け入れて、周りがちょっとずつサポートしてあげること、症状の進み具合もだいぶ変わります。笑顔を作って、脳を刺激する。ほめてやる気を出してもらおう。コミュニケーションで安心を与える。役割を作り、生きがいを感じてもらおう。認知症でも楽しく過ごせる環境づくりを行っていくことが大切です。群馬県では、平成27年までに認知症サポーターを80,000人に増やす計画です。(現在は約45,000人)正しい理解があれば、本人も介護家族も精神的な負担が減っていくはず。本人とご家族への応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指していきたいですね! サポーターの証は、オレンジリングです★

スペシャル オリンピックス

投稿日: 2012年3月23日

みなさんは、『スペシャルオリンピックス』ってご存知ですか?? 日本での認知度はまだ低いようですが (特に群馬ではあまり知られていません)、アメリカで始まったこの活動は、スポーツを通じて、知的発達障害のある人たちの自立と社会参加を促進することを目的としており、世界170ヶ国以上で370万人の知的発達障害を持つアスリートと85万人以上のボランティアが参加する国際的なスポーツ組織活動です。日本国内でも、全国に地区組織があり、約8,000人の知的発達障害を持つアスリートが活動しています。群馬県内でも、テニスやボーリング、スキーなどの活動が盛んに行われていますが、まだ正式な組織にはなっておらず、スペシャルオリンピックス日本・群馬設立準備委員会の設置にどまっています。なかなか活動が広がっていないのは、知的発達障害に対する理解や支援が十分ではないから。協力してくれるボランティアさんも少ないそうです。しかしながら、先日ぐんまボランティアフェスティバルに参加した感じからすると、この組織の存在や活動の重要性を知れば、ぜひ協力したいという人もたくさん現れる気がします。協力の方法は、スポーツの補助や募金、広報などいろいろあります。一人でも多くの方に、知っていただき、そして、一人でも多くの方にご協力を頂ければ幸いです。

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!



Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員 (リベラル群馬)。産経土木常任委員会。大規模震災対策特別委員会。都市計画審議会。前工団委員。

お神輿 (お祭り) 好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp ● Email info@akira-o.jp

